

2024年

10月19日〔土〕

クッキングパーク

〔新潟県胎内市本町2-32〕

11:00—17:00

インプット

まちあるき

ランチ

フックシヨップ

料金 1000円

〔お弁当付き〕

定員 15名

お申込／裏面のGoogleフォームから
お申込ください。(申込締切10/12)

主催／SEZI Social Design Project

新発田地域振興局企画振興部

協力／NPOミッシン

ちほうでこへぬみんなの未来

ローカル醸成熟

in Tamau

まちの案内人による、まち歩き。

観光では出会えない人と場所

ワクワクを対話し

日常がちょっと楽しくなるプランを考える。

ローカルで、あなたもまちもワクワク。

———
未来を醸成しませんか？



講演者
水島 優



案内人
神田 圭奈 (けび)



ちほんでつくるみんなの未来

2024年

10月19日〔土〕

クッキングパーク

〔新潟県胎内市本町2-132〕

11:00 — 17:00 開場 10:30 —

インプット 11:00 —

水島優講演。関係人口・新しいかたちのまちづくりなど。

ランチ 12:30 —

昼食・自己紹介。

まちあるき 13:45 —

案内人・けびによるまちあるき。本町エリア

ワークショップ 15:00 —

対話式のワークショップ。
まち歩きでの発見をもとに
あなたの日常が楽しくなる企画を考える。



新潟県

胎内
Tainai

お申込みフォーム 締切 10/12



料金 10000円
(お弁当付き)
定員 15名

●アクセス JR羽越本線 中条駅より徒歩で10分 日本海東北自動車道 中条ICより車で10分 ●駐車場 熊野若宮神社の駐車場をお使いください。



水島 優 みずしま・まさる

写真家・アーティスト・プロジェクトプロデューサー
高校時代から写真を始め、東京の専門学校で写真を学ぶ。2004年にパリへ移住し、写真家として雑誌や広告の仕事をするかわらベルサイユ市立美術学校で絵画や造形を学ぶ。仲間と一緒に「ISEZI Social Design Project」を立ち上げるため、2021年に帰国。新発田市の商店街にある築150年の町家を活かして市民活動を基にした経済活動を行うことで、地域の文化を残すためのチャレンジを行っている。地域の高齢者の居場所づくりや関係人口を増やす取り組み、町営の運営、新しいかたちのまちづくりなどさまざまな活動を進めている。
県外での講演会や、インバウンド向け観光のプロジェクトにも関わり、NHKなどのTV、雑誌・新聞など様々なメディアで取り上げられる。



イセジ ソーシャルデザインプロジェクト

城下町・新潟県新発田市の、江戸時代から続く商店街で約150年前に建てられた旧呉服屋さん「伊勢治」から「民間公共文化施設」としてみらいのかたちを創造するプロジェクト。多種多様な人が集まり、来た人が安心して、刺激を受け、知ってる人や知らない人がふらっと出会い、社会資源を活用しながら、わたしたちが欲しいものを、わたしたちで創造します。歴史の正統性に現代のクリエイティブを乗せて、楽しみながら自由な発想で自発的に行動できる環境を生み出しています。
公共の課題、過疎化、少子高齢化、環境問題、経済格差などに対して、新たな視座を組み込み、試みる場であり、自主性と創造性を育てる社会教育を実践しています。



神田 圭奈 (けび) かんだ・けいな

NPOヨリシロ代表理事・胎内市観光振興推進サポーター
埼玉県秩父郡出身。地域おこし協力隊として胎内市で活動後、観光振興推進サポーターとして観光地域づくり、NPOヨリシロとして協力隊併走支援などに取り組む。
趣味は散歩とジグソーパズルくらいしかない。好きな食べ物も別れないが、ご当地ソフトクリームを見つけたら必ず食べるようにする、絶対に。



ぼりりん

コメンテーター
東京在住、美容サロン店長。専門卒業後、美容師を4ヶ月で辞め、ニート期間(4年)、自分の運の良さでなんやかんやで今に至る。趣味はオタ活+食べログで美味しいお店を見つける。

本企画は「関係人口」をキーワードに、まち歩きを通して発見したものを参加者とシェアしながら、自分だけでなく、みんなと一緒にワクワクする企画をつくります。

民間の有識者グループ「人口戦略会議」によると、胎内市は2050年までに20代から30代の女性が50%以上減少し、将来消滅する可能性がある、消滅可能性自治体と定義されています。若年女性に選ばれる町になるには、さまざまな施策だけでなく、住んでいる人はもちろんのこと、訪れた人や、話を聞いた人の気持ちを盛り上げる必要があります。

そのために、インプットの時間では新発田市で関係人口の取り組みをしてきた水島優(イセジプロジェクト)が、関係人口に取り組むことで地方都市にどのような効果が生まれるのか、全国の事例と共にお話しします。

まち歩きでは、まちを良く知るまちの案内人けびと一緒に、ワークショップの材料を探します。ふつうの観光では出会えない場所や人を訪れたり、気ままに歩

きながら、自分のこころが動く発見《ワクワクすること》を目指します。

ワークショップは、まち歩きで発見した参加者のワクワクをもとに対話式で行います。まちを使ってあなたの日常がちよっと楽しくなる企画を考えます。

当日は、コメンテーターとして首都圏在住女子代表ぼりりんにお越しいただき、それぞれの企画が地方に興味のなさそうな女子に選ばれる場所になりえるのか、独自の目線でコメントします。

この日をスタートに、オールカールであなたもまちも、一緒にワクワクするみらいを醸成しませんか？

関係人口 移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面していますが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。関係人口に取り組むことで、移住促進施策よりも2.3倍の経済効果があることもわかっています。特定の雰囲気や考え方を形成すること。